

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 競技服装について

- (1) 選手のユニフォーム（ジャージ、パンツ、ソックス）は、形状、色、及びデザインをチームで統一する。
- (2) 混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、違うユニフォームを準備できない場合は、同一ユニフォームでも構わないが、男子・女子のいずれかが識別用バンドを腕か足首に付けるか、またはソックスの色でひと目で判別できるようにする。
- (3) ユニフォームからはみ出すスパッツ、アンダーウェア等は、チームで統一されていることが望ましい。

2. テクニカルタイムアウトの取り扱いについて

- (1) 「テクニカルタイムアウト（以下TTO）」は、選手及びスタッフ（小学生）の健康管理のためのタイムアウトである。
- (2) TTOが開始されたら、選手はベンチの外側の端に位置する。
- (3) ベンチスタッフ（大人）は、選手の健康観察を行い、不調が疑われる選手には直ちに対応する。
- (4) ベンチスタッフ（大人）は、選手およびスタッフ（小学生）全員が給水できるように準備をする。
- (5) ベンチスタッフ（大人）が選手に話しかけるときは、ベンチスタッフ自身が既定の位置に移動する。
- (6) TTO中は、ベンチスタッフ（大人）がフロアモッピングを行うことができる。

3. 靴紐を結ぶ場合は、試合進行の妨げとならぬよう、ボールデット間に速やかに結ぶ。また、レフェリーに申し出る必要はない。

4. 試合中、ボールを使用する練習が認められるのは、セット間においてエンドライン後方のフリーゾーンのみとする。ボールカゴは、ウォームアップエリア横（ベンチと反対側）に置く。

5. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの範囲内において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。

6. ワイピングについて

- (1) 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。
- (2) 公式練習終了後、タイムアウト及び、セット間には、選手またはチームスタッフがモップを使用してコート内とサービス・ゾーンのワイピングを行う。

7. 「軽度の不法な行為」「罰則につながる不法な行為」について

- (1) ベンチスタッフファーストレフェリー（以下FR）の判定の後、ラインジャッジ、レフェリーに対して威圧的な態度を示したり不満を口にしたりした場合（無作法な行為、侮辱的な行為、攻撃的な行為）は、ルールに従いFRが、「軽度の不法な行為」「罰則につながる不法な行為」として適切に対応する。試合終了後、大会審判委員長にその内容を報告する。
- (2) 観戦者が上記（1）と同様の行為を行った場合、観戦者の行為に対するルールブック上の規程はないが、度を越した選手への指示（選手が指示に耳を傾ける態度を示した場合）やレフェリーへの不満の声は、試合にも大きく影響するため見過ごすことができない。直接、行為者に罰則を与えることができないため、行為者に代えて監督に対して上記（1）と同様の対応をとるようにする。その際、試合を中断し、監督にその旨を伝えるとともに、対象となる観戦者の方向を示すなどして、行為者及び他の観戦者にも状況が伝わるようにして自制を促す。

8. チーム審判（FR・SR、ラインジャッジ・点示・スコアラ（簡易IF）について

- (1) 準々決勝までは、役員をサポートのもと、該当チームがFR・SRを行う。
- (2) 服装は、試合時の服装に準じる。各自で吊り下げ名札（チーム名を記入）を準備して着用するか、チーム名の入った上着を着る。
- (3) 審判に必要な用具を準備する。（ホイッスル、トスコイン、腕時計、筆記用具）
- (4) ラインジャッジ（4名）と点示（1～2名）と簡易IF（1～2名）は、各チームで行う。

・【女子の部】第3試合日は、1チーム単独でフェリーを2名出す。出せない場合は、本部へ申し出る。

	第1試合	第2試合以降	第4試合(男子・混合)	A4試合(女子)	C4試合(女子)	代表決定戦(男子)	代表決定戦(女子)	決勝戦(男子・女子)	決勝戦(混合)
	該当コート 第2試合日のチーム	該当コート直前の 試合のチーム	該当コート直前の 試合のチーム	A3・B3の負けチーム	C3・D3の負けチーム	D4の負けチーム	決勝戦のチーム	代表決定戦のチーム	C4の負けチーム
ファーストレフェリー	プログラム番号が前のチーム	負けチームから1名	大会役員で行う			大会役員で行う			
セカンドレフェリー	プログラム番号が後のチーム	勝ちチームから1名							
ラインジャッジ 点示・簡易IF	両チームから4名ずつ	負けチームから 6～8名	負けチームから 6～8名	両チームから 4名ずつ	両チームから 4名ずつ	負けチームから 6～8名	両チームから4名ずつ	負けチームから 6～8名	

【お知らせとお願い】

来年度の夏の県大会からは、従来の簡易IF用紙が廃止され、公式IF用紙を全試合に適用して記録します。チーム内で周知と練習をして、確実にスコアラが務まるようにしておいてください。

また、C級審判のチーム帯同も義務となります。円滑な試合運営のためにも、審判のスキルアップに、チームとして日頃から努めていただくようお願いいたします。